

## 令和5年度 第5回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時：令和5年8月23日（水）午前10時～正午

■場 所：おもやA201会議室

■出 席：（敬称略）

（委員）（8名）室 英治、表 伸一郎、塚原 仁、増山 弘子、小西 信生、石川 伊智郎、森嶋 正行、山田 義夫

（事務局）（4名）田口 敦、谷口 謙太、塚原 二郎、町田 拓未

■欠 席：

（委員）（2名）谷田部 義則、吉武 考三郎

### ■議 事

#### 1. 報告

① 令和5年度 第4回検討調整会議事録・・・内容について了承。

② 打水日和の実施報告について

⇒7月28日（金）15：00～16：00実施。カウントできただけで122名、子供も含め多くの参加があった。地表温度が49℃から41℃に下がるという目に見える効果がアピールできた。当日はやや曇りで日陰もありそこまで危険な暑さにならずよかった。来年も同じ場所で実施できればと考えている。

③ 夏の親子かんきょう塾バス見学の開催結果について

⇒8月21日（月）実施。二ツ塚・谷戸沢処分場、小河内ダムを見学。33名の親子が参加（サポーター含め39名、風邪のため1組欠席）。1名のお子さんが行程中に体調不良となったが、途中離脱せず府中に到着後保護者とともに帰宅した。毎年のことだが昼食をとる場所の確保が課題。

・アンケート結果を見ると環境保全活動センターの知名度が低いことがわかる。認知を広げていくために広報、メール配信、新しいホームページなど有効活用できれば。

④ その他

・多摩川名人第3回 8月26日（土）虫の音鑑賞会として実施予定。メール配信後1名追加申し込みがあった。実踏を行ったところ、コオロギやマツムシなどの鳴き声が確認できた。懐中電灯、シート、簡易椅子などあるとよい、これから参加予定者に周知する。

#### 2. 議事

① 令和5年度の活動センター学校協働の進捗について

⇒農工大と明星学苑の連携、9月23日（土）10：00～12：00実施

で調整中。明星学苑の生徒が農工大を訪問し、ゴミダイエットNOKOの学生が学内を案内しサークルの活動紹介やワークショップを行う予定。来週に明星学苑の生徒へ案内を出し参加希望者を募る予定で、その後参加人数が固まる見通し。

・これをきっかけに農工大の学生にセンターへ関わってもらえるようにできたらよい。⇒まずはスタートアップ企画として実施し、今後定着してくようであれば、メンバーの固定化や組織化の仕組みを考えたい。

・この事業はどのような位置づけのものか。⇒市と明星学苑との協働にかかる包括連携協定に基づき、明星学苑側より生徒向けの課外学習をできないかと打診があった。実施方法を検討するなかで農工大とのコラボ案が浮上し、農工大側からも快諾いただき現在に至る。協定の実績作りの一つとしての意味合いもあるが、事業がうまくいけば公立学校も含め他校へ展開していくことも考えられる。また、センター事業を拡幅するという意味でも期待している。

② 府中かんきょう塾第4回について

⇒9月13日（水）埼玉県自然学習センターにて実施予定。昨日（8月22日）募集を締め切り、定員20名のところ10名の申し込みを受け付けた。説明等がいきわたりやすいためちょうどよい人数かと思われる。サポーターへの周知はメールで。検討調整会メンバーでは現時点で室委員、表委員が参加予定。

③ 府中かんきょう塾第5回以降の予定について

【第5回】・・・タイトル決定「知っていますか、あなたの周りのホルモンみたいなもの」。大学内の見学、併設の動物病院やバックヤード的なところを見学させてもらえる見通し。

【第6回】・・・動きなし

【第7回】・・・プラッツ館長とタイミングが合わずなかなか連絡が取れないため、早めに直接連絡がとれるよう動く。

・テーマはボランティア活動全般か、環境活動特化か。⇒それらを含め確認する必要があるため早めにコンタクトをとりたい。

④ 令和5年度の活動センター事業について

⇒9月30日 太陽光発電普及啓発セミナー・・・東京都からの講師派遣、太陽光パネルの普及促進事業

⇒12月2日 エコクッキング・・・給食センターで実施。担当の栄養士も決定。

⇒2～3月 森キッズ・・・2年前から育てている苗を浅間山に戻す。今回は戻すのみ。

⑤ その他

⇒HP：明日、8月24日（木）業者と顔合わせ予定。スケジュールなど具体的な話はそれ以降になると思われる。次回9月の検討調整会で何かしら示せたらと考えている。

⇒センターの在り方の討論に関しても次回9月の検討調整会の場で開催時期を示せたらと考えている。

（次回検討調整会は案2の9月21日（木）に決定）

#### ⑥ 各部会報告

【学習部会】・特になし

【広報部会】・これまでセンターだより1面の写真は草花などが慣例であったが、それらにこだわらずテイストを変えてもよいか？←例えば先日実施した打ち水など、行事の写真なども良さそう。

- ・より広く周知するため部数増や配架方法の工夫ができないか。
- ・文化センターは5部までのルールあり。
- ・学校ではお知らせの手紙などを配付端末へデータで送っている。配付依頼がたくさん来るため実際に配付するものは吟味しているが、センターだよりは市の事業に関わることなのでその他の件に比べて配付のハードルは低いと思われる。
- ・市の広報で周知できないか。
- ・次回のセンターだよりに新HPがいつから稼働するか載せられないのか。⇒載せるとしても発行の時点で確定している情報にとどまるため、表現は工夫する必要がある。

### 3. その他

- ・学校での環境教育について・・・
  - ・各学校でゴーヤを育てている（PFSの協力あり）。その先の学びにうまく活かすことが難しく課題に感じている。
  - ・飼育小屋に関しては休日中の世話に係る負担に加え動物愛護団体からの声など、取り巻く状況が難しくなっており、廃止している学校もある。夏の間は屋内に避難させるなどの対応も。
  - ・南白糸台小のホタル飼育、新町小のヤギ飼育など独自の取り組みを行っている学校もある。
  - ・一部の学校は校庭を芝生化しており、鳥や蝶の飛来、温度上昇の抑制などのメリットがあるが、管理の手間やコストが課題。
  - ・環境教育の場として学校が果たせる役割は大きいと考えている。そのために地域との協働は不可欠であるが難しい時代でもある。今後もよりよい取り組みのためにどんなことができるか考えていきたい。センターの皆さんの知見もいただきたい。

・ハチに注意・・・

- ・先日アシナガバチに刺された。人家の軒先など生活圏内にいるため注意が必要。ただ、あまり危険性にばかりフォーカスすると特に子供たちがハチを害虫と決めつけてしまうことにもつながりかねないため、伝え方に気を付けたい。

■次回開催予定日

令和5年度 第6回府中市環境保全活動センター検討調整会（通算145回）

日 時：令和5年9月21日（木）午後1時30分～

場 所：府中駅北第2庁舎 3階小会議室